

なりたの森あそび体験

秋の森であそぼう

横山解子（四街道市）

日 時:2025年 11 月 27日(木) 9:15～11:20 天気:晴れ

場 所:成田市倉水の森(管理者:北総里山倶楽部)

参加者:成田市立下総みどり学園 1年生 21名、教員 3名

成田市農政課 2名、ちば里山センター1名、北総里山倶楽部 3名

担当指導員:尾澤 晝間 横山

青空の下、落葉を踏む元気な音が森に響き、1年生21名が到着、はじめの会を終えて開始時刻までの10分間、鬼ごっこをしてウォーミングアップ。すっかり打ち解けてから3グループに分かれて森遊びが始まった。

- 「じゃんけん落ち葉拾い」…じゃんけんをして勝ったら落ち葉が拾える。相手を変えて何度も繰り返して、手にいっぱい葉っぱを持つ子もいる。どんな葉っぱを拾ったか見せ合った。
- 「秋の森を探検しよう」…秋といえど「栗」「どんぐり」とすぐ答えが返ってくる。では森を歩いて秋を探しに行こう。それぞれビニール袋を持って、葉っぱやドングリを拾っていく。「ダンゴムシ」「バッタ」と女の子も男の子も手で捕まえて持ってくる。容器に入れてみんなで観察。ベースに戻った時は袋がいっぱい。収穫物を出しあって葉っぱの形や色で分けてみる。
- 「どんぐりで遊ぼう」…2つの班に分けて、木の枝で枠を付けたダンボールの台紙に、みんなで枝を貼り付けて迷路を作る。スタートからゴールまで、どんぐりを転がしてみよう。簡単にゴールするので、枝をもっと貼り付けてみよう。どんぐりは1個じゃなくて2個にしよう。最後は3個。次々と工夫をして盛り上がった。
- 「きれいな葉っぱで森をかざろう」…用意した黒い切り抜き台紙に、集めた葉っぱをセロテープで貼り付けて、ステンドグラスを作る。「クリスマスツリー」の台紙が一番人気。じゃんけんで決める。出来上がったステンドグラスはロープにぶら下げて飾ってみる。太陽の光に葉っぱの赤や黄色、茶色がガラスのように透けてきれいだ。素敵！
- 「落ち葉を集めて山(道)を作ろう」…落ち葉を山のように積み、跳んだり、寝転んだり、葉っぱをかけ合ったり。落ち葉の布団の中に寝た子は「暖かいよ」。落ち葉だらけになって葉の感触を楽しんだ。最後はシートに落ち葉を山のように乗せ、みんなでシートの縁を持ち、1・2・3で上に飛ばした。この落ち葉どうなるのだろうか。小枝で葉っぱをかき分けて、だんだん小さくなり、土になっているのを観察。
- 「落ち葉のゆくえ」…絵本「おちばのしたをのぞいてみたら…」の読み聞かせをした。落ちた葉っぱが土になり、木が育ち、また葉っぱが落ちる。いのちが「回ってる」と声が出た。終わりの会では、「落ち葉の山を跳ぶのがおもしろかった」「全部楽しかった」との感想。最後に森と、森を管理している人たちへの「ありがとうございました」が森中に響き渡った。



ひらひら葉っぱが舞う



どの葉っぱがいいかな？



葉っぱで遊んだよ！